



証券コード：7995

株主の皆さまへ

2025年3月期(第125期)

バルカーレポート

2024年4月1日 ▶▶ 2025年3月31日

Value & Quality

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2025年3月期（第125期）バルカーレポートをお届けします。

当期中に、当社の元執行役員および従業員による不正行為が発生し、皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

「二度と不正行為を発生させない」との強い決意のもと、グループ全社員が一丸となり、再発防止策の実行および企業風土の改革に取り組んでおります。今後は、これらの取り組みの成果をお示しすることで、皆さまからの信頼回復に努めてまいります。

2025年3月期において当社グループは、足元の収益確保に注力するとともに、当期よりスタートした中期経営計画「NF2026」に基づき、将来のさらなる成長を見据えた事業基盤の強化を推進しました。

その結果、先端産業市場向けのサプライチェーン整備、AI/ITソリューションの拡充、事業構造改革などが着実に進展した一方で、業績は大型案件の減少などの影響を受け、売上高および各利益が前年同期比で減少する結果となりました。

2026年3月期に向けましては、当社グループの事業環境に大きな影響を与え得るリスク要因が多く存在している状況ではありますが、特に下期以降における先端産業市場向けの拡大およびAI/ITソリューションの業績貢献を見込んでおります。

これらの実現に向けて全力を注ぐとともに、将来の持続的な価値創造に向けた道筋をより確かなものとするため、戦略の実行を着実に進めてまいります。

2025年6月

シール製品
事業売上高 **40,616** 百万円売上高
構成比 **67.6** %事業
概況

シール製品事業は、機器市場向けが設備投資減勢の影響を受けたものの、先端産業市場向け高機能シール製品の販売が回復を示したことにより、売上高は406億1千6百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は52億7千4百万円（同68.0%増）となりました。

今後の
展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における競争力を強化するとともに、機器市場やプラント市場向けは効率化の推進とデジタルソリューションによる新たな顧客価値の創造を図り、さらなる業績の拡大をめざします。

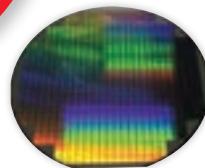
連結売上高
60,113
百万円

機能樹脂製品
事業売上高 **16,334** 百万円売上高
構成比 **27.2** %事業
概況

機能樹脂製品事業は、先端産業市場・プラント市場向けのフッ素樹脂特殊タンク製品の需要が調整局面となったために大きく減少し、売上高は163億3千4百万円（前年同期比24.3%減）、セグメント利益は5億6千7百万円（前年同期比85.8%減）となりました。

今後の
展開

先端産業市場およびプラント市場向け戦略製品を軸に、グローバルシェアの拡大とそれを支えるサプライチェーンの整備を進めるとともに、事業構造改革を推進し、収益力の強化を図ってまいります。

シリコンウエハー
リサイクル事業他売上高 **3,161** 百万円売上高
構成比 **5.2** %事業
概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業の需要やデジタルソリューションの顧客獲得は堅調に推移したものの、後者の開発費用が先行し、売上高は31億6千1百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント損失は1億7千2百万円（前年同期はセグメント損失3千4百万円）となりました。

今後の
展開

シリコンウエハーリサイクル事業を担っていた連結子会社の売却に伴い、当セグメントは当期で解消いたします。なお、2026年3月期からデジタルソリューションなどはシール製品事業に含まれることとなります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日	自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
売上高	61,744	60,113
売上原価	36,438	36,269
売上総利益	25,305	23,843
販売費及び一般管理費	18,203	18,174
営業利益	7,102	5,669
経常利益	7,399	5,999
税金等調整前当期純利益	7,100	6,207
当期純利益	4,950	4,722
親会社株主に帰属する当期純利益	4,909	4,676

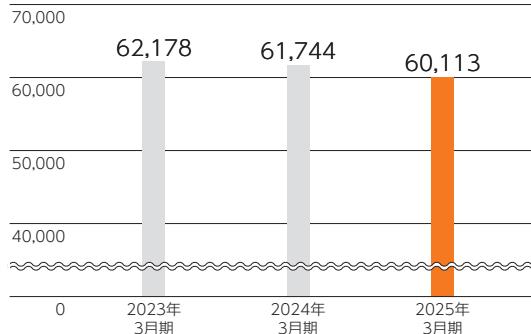
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2024年3月31日	2025年3月31日
資産の部		
流動資産	43,801	46,430
固定資産	30,686	31,393
資産合計	74,487	77,823
負債の部		
流動負債	16,560	18,569
固定負債	9,195	8,732
負債合計	25,755	27,302
純資産の部		
株主資本	44,048	46,256
その他の包括利益累計額	4,167	4,230
非支配株主持分	515	34
純資産合計	48,731	50,521
負債純資産合計	74,487	77,823

売上高

単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2024年3月期	75.0 円	75.0 円	150.0 円
2025年3月期	75.0 円	75.0 円	150.0 円
2026年3月期 (予想)	75.0 円	75.0 円	150.0 円

国内最大級のフッ素樹脂ライニングタンク工場が稼働開始

～バルカー、国内サプライチェーンの強化で半導体産業を支える～

バルカーの100%子会社である株式会社バルカーミカワフロンテック（愛知県新城市）は、愛知県田原市において建設を進めてきたフッ素樹脂ライニングタンク工場（田原工場）を本格稼働します。

田原工場は、フッ素樹脂ライニングタンクの一貫生産を行える施設としては、国内最大級の規模となります。本工場の稼働により、バルカーグループのフッ素樹脂ライニングタンクのサプライチェーンはさらに強化され、グローバル市場における競争力を一層高めるとともに、半導体生産の国内回帰の流れを支える重要な役割を果たすこととなります。

■品質と効率の向上

フッ素樹脂ライニングタンクは、半導体製造において使用されるレジストやスラリーなどの高純度薬液の貯蔵・搬送を担うものであり、半導体生産に欠かせない存在です。

高機能化学品に長時間さらされる半導体関連向けライニングタンクは、非常に高い品質が求められるため、供給可能なメーカーは世界的にも限られています。

バルカーはその1社として、「世界一クリーンなタンクをつくる」との評価を得てきましたが、田原工場では、最新鋭の設備とバルカー独自の高度な生産技術を融合させることで、さらなる高品質化と製造プロセスの効率化を実現しています。



田原工場全景：半導体向けのフッ素樹脂ライニングタンクでは、世界でも有数の生産能力を誇ります

■グローバルサプライチェーンの強化

近年、半導体の生産や関連する設備投資は、波はあるものの拡大傾向が続いています。今後も半導体生産は世界的に拡大する見通しが立てられており、特に東アジア地域では、半導体生産の中心地として工場建設ラッシュが予想されています。

これに伴い、同地域でのライニングタンクの需要も増加する見込みです。バルカーグループは、現在の中核拠点である台湾生産拠点に加え、田原工場を稼働させることでこの需要に応えていきます。

従来からバルカーグループは、半導体などの先端産業市場を戦略市場として位置づけ、将来的な収益の拡大を担う存在として、生産拠点の整備や研究開発の強化を進めてきました。

田原工場の新設はその象徴的な施策であり、その稼働によって先端産業市場向け収益の拡大はより確かなものとなります。



■地域とともに成長する企業へ

バルカーミカワフロンテックは、地域密着型の企業として、愛知県三河地域を拠点に持続可能な成長をめざしています。「ミカワ」の名を冠した新社名には、地域社会とともに発展し、三河から世界へ羽ばたくという思いが込められています。

近い将来、半導体生産を支える存在として、「Made in Mikawa」のフッ素樹脂ライニングタンクが世界中で活躍する日が訪れることになります。



貯蔵用フッ素樹脂ライニングタンク：間もなく「ミカワ」の地で本格的な生産が開始されます

会社の概況 (2025年3月31日現在)

社名 株式会社バルカー
(英文表記 VALQUA, LTD.)
創業 1927年1月21日
設立 1932年4月8日
資本金 13,957百万円
発行済株式総数 18,688,733株
株主総数 39,868名
従業員数 426名 (連結 1,536名)

役員 (2025年6月25日現在)

取締役

代表取締役会長
CEO 瀧澤 利一
代表取締役社長
COO兼CWO 瀧澤 利治
取締役副社長
CFO兼CDO 中澤 剛太
取締役(社外) 成田 学
取締役(社外) 齊藤 三希子
取締役(社外) 沓澤 浩也

監査役

常勤監査役 高 昭夫
監査役(社外) 高橋 秀法
監査役(社外) 戸井川 岩夫

CEO: 最高経営責任者
COO: 最高執行責任者
CWO: 最高ウェルビーイング責任者
CFO: 最高財務責任者
CDO: 最高デジタル責任者
CCO: 最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員 椿山 善昭
専務執行役員 神田 大輔
常務執行役員 小川 禎
常務執行役員
CCO 谷田部 麻美子
常務執行役員 伏屋 克俊
常務執行役員 小野 幹仁
常務執行役員 川上 孝弘
執行役員 野邊 淳嗣
執行役員 今井 将廣
執行役員 門脇 貞幸
執行役員 村上 良太
執行役員 能勢 正章
執行役員 堤 直彦
執行役員 村井 公博
執行役員 岸 優子
執行役員 木下 祐介

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。